

コロナ禍における女性のつながりサポート事業【富山県】

地域の実情と課題

- ①富山県内の令和元年度の**自殺の増加率**は、**16.7%と全国で最も悪い**数字
- ②人口10万人あたりの自殺者数を示す「**自殺死亡率**」の全国の中で**6番目に高い**数字
- ③自殺者数は、性別にみると、**女性の対前年度伸び率が10.0%**

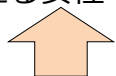
目標

目標

| 項目 | 現状 | 2021 | 2026 |
|-------------------------|-----------|--------|--------|
| 30~34歳の女性の就業率 | 79%(H27) | 83.1% | 87.2% |
| 管理的職業従事者に占める女性の割合 | 7.6%(H27) | 10.5% | 14.0% |
| 一般事業主行動計画を策定・届出済みの中小企業数 | 28社(H29) | 200社程度 | 400社程度 |

事業の特徴

コロナ禍のなか、これまで支援の手が届かず孤独・孤立の状態にあり不安を抱える女性



NPO法人等の知見を活かした支援事業を行うことで、行政等の支援窓口や支援メニューの情報提供等

連携団体

- 女性支援（サロン交流活動、DV、見守り等）
 - 生活支援（フードバンク等）
 - 子育て支援（子ども食堂、ひとり親支援等）
 - 福祉支援（社会福祉協議会等）
- ほか

事業の効果

- ◆①サロンの開催 年8回
参加者延べ170名、相談件数60件
・相談内容：就活の悩み、子どもの不登校、更年期の不調等
相談者(参加者)の年代：20代~60代
- ◆②NPO法人等での実施（相談業務・生理用品の配布等）
委託先：25団体 相談件数：722件

今後の課題

関係団体や市町村とも連携しながら、必要な方に必要な支援が行き渡るよう、情報発信を工夫するとともに、きめ細かなサポートに努めたい。

事業の概要

(1) サロンの開催

女性を支援するNPO法人等と連携し、カウンセラー等による専門相談を、月に1回程度実施する。サロンにおいては、悩み相談のみならず、不安を抱えた女性が参加しやすいようなイベント開催も含む。



(2) 関係NPO法人等による支援

(生理用品等の購入、カウンセリングの実施)

県内のNPO法人等（地域活動団体約30団体）について、NPO法人等が既存のネットワークを活用した女性支援を実施。

| 区分 | 限度額 | 委託件数 | 経費(具体例) |
|--|------------------------|---------------|---|
| (1) 生理用品・衛生用品の配布を行うための物品購入費用 (2) 相談実施にかかる経費 | (1)上限10万円 (2)上限10万円 | 26件 (25団体) | <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 (生理用品、マスク、消毒液のみ) ・賃金・謝金 (相談実施に係る人件費) ・旅費 (相談実施に係る交通費) |

ここでつながる、**女子サロン**

参加費 無料!

コロナ禍で孤立しがち... ひとり、孤独や不安、抱えないで、生理のこと相談したい

生活が苦しいけど、人には頼れない

ワークショップをしながらお話をしませんか?

毎月第2土曜日開催 14:00-17:00
会場 サンプルテ 4階和室 各回定員 30名(要予約)

7.10 マスクチームを作ろう 11.13 マスクチーム・イヤリング作り

8.14 アロマで作るデオドラント、手指消毒、マスク用スプレー 12.11 マスクマグネットを作ろう & マフィンをデコってみよう

9.11 ビーズで作るプレスレット 1.22 アロマを使用したハンドマッサージ・フットマッサージ

10.9 アロマで作るハンドクリーム・ヘアスプレー 2.12 お楽しみ企画

サロンについて詳しくはこちら <https://tsunagarisp.1web.jp/#contents>

